

## 標準的な接種スケジュール（令和5年4月現在）

予防接種の種類	出生	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	～	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	7歳6か月
ロタウイルス ※1			1回目	2回目														
B型肝炎			1回目	2回目	<1回目から139日以上の間隔>			3回目										
ヒブ			1回目	2回目	3回目	<3回目から7～13か月の間隔>			追加									
小児肺炎球菌			1回目	2回目	3回目	<3回目から60日以上の間隔で、1歳以降に>			追加									
4種混合			1回目	2回目	3回目	<3回目から1年～1年半の間隔> (最短で6か月おいて)			追加				※2					
BCG																		
麻しん・風しん (MR)											1期							2期
水痘 (水ぼうそう)											1回目	2回目						
日本脳炎																		

ヒブ、小児肺炎球菌は接種開始年齢により、接種回数異なります。

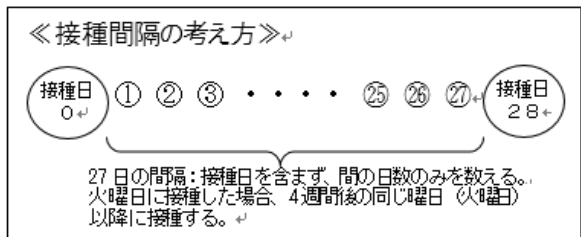
小学校就学前の年長児

### …接種タイミング

- ※1：ロタウイルスワクチンは2種類あり、いずれも同様の効果があります。2つのワクチンは接種回数異なります。最初に受けたワクチンと同じ種類のワクチンを接種してください。
- ※2：4種混合ワクチンの対象年齢は、令和5年4月1日より、生後2か月～に変更となりました。
- ※3：生後6か月から接種が可能です。

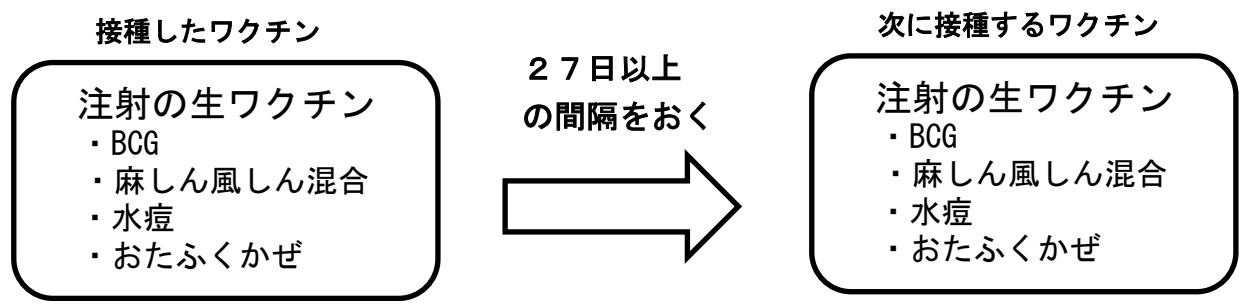
**【対象年齢】** ○歳（○か月）未満とは、○歳（○か月）になる前日が接種可能な最終日です。

**【接種間隔】** 接種日を含まず、間の日数のみを数えます。  
「27日の間隔をおく」とは、以下のように数えます。



### 【異なった種類のワクチンを接種する場合の間隔】（令和5年4月現在）

注射の生ワクチンと注射の生ワクチンの間隔のみ、接種してから27日以上あけます。



※臨時接種の新型コロナワクチンは、インフルエンザワクチンと同時接種が可能です。新型コロナワクチンと、その他のワクチン（インフルエンザを除く）は前後に2週間以上の間隔をあけます。  
※同じ種類のワクチンを複数回接種する場合は、ワクチンごとに定められた接種間隔を守りましょう。